

## チュートリアル課題 膜があれば

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/29025">http://hdl.handle.net/10470/29025</a>

平成19年度 ブロック 1 - 2 期  
課題 No. 7

# 「膜があれば」



❌断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

生化学、生物学、物理学  
大久保研之、福井由理子、木下順二

## シート1

細胞を機械的に破壊すると細胞膜も破れてしまいますが、条件を整えると膜の破片はその大きさのまま自ら閉じて小胞となります。

小腸の上皮細胞を用いてこの小胞を作り、グルコースの取り込みを観察しました。グルコース溶液には2種類の溶液 A、B を用意しました（それぞれの組成は別紙表1 参照）。

別紙表 2-1 は小胞を溶液に入れたその時点をも0分として、経時的に小胞の一部を取り出し、小胞内部に入っているグルコース量を測定した結果を示しています。毎回取り出す小胞の量は一定、溶液中で小胞はつぶれたりすることなく球状を保っています。同じ実験を、リン脂質だけからなる人工膜の小胞（リポソームという）を使ってやってみました。その結果が表 2-2 です。